

# キーボードシミュレーター取扱説明書

## 1. 概要

キーボードシミュレーターは、バーコードスキャナーで読み取ったデータを、キーボード入力として PC に送信するためのツールです。本ソフトウェアを使用することで、バーコードスキャナーから受信したデータを任意の形式で出力できます。

出力の順序は以下の通りです。

プレフィックス → バーコードデータ → 送信キー → サフィックス → 改行コード

バーコードを読み取る際は、半角英数モードで読み取ってください。

バーコードスキャナーが接続されている間、キーボードシミュレーターは自動的に最小化されます。

## 2. 通信設定

バーコードスキャナーと PC を COM ポート接続する際の設定を行います。

バーコードスキャナーを PC に接続した状態でキーボードシミュレーターを起動すると、PC に認識されている COM ポートの一覧が自動的に表示されます。

一覧から使用するポートを選択してください。

## 3. プレフィックス設定

読み取ったバーコードデータの先頭に付加する文字列を設定します。

プレフィックスには全角文字の入力も可能です。

（例：データの前に特定の識別子を追加する場合など）

## 4. サフィックス設定

読み取ったバーコードデータの末尾に付加する文字列を設定します。

サフィックスにも全角文字の入力が可能です。

（例：データの後ろにタブや特定記号を追加する場合など）

## 5. 改行コード設定

バーコードデータの末尾に改行コードを付加することができます。

改行コードを設定することで、データ送信後に自動的に次の入力行へ移動させることが可能です。

## 6. 送信キー設定

バーコードデータの先頭文字列が「コード ID」と一致した場合、指定した送信キーを付加して出力します。

また、「読み取りカウンター使用」機能を有効にしている場合は、以下のように動作します：

- ・バーコードデータの先頭文字列が「コード ID」と一致する
- ・同一データが「カウンター値」で設定された回数だけ連続して読み込まれる

この条件を満たすと、「カウンター用送信キー」が付加されます。

## 7. 補足事項

- ・本ツールの動作中は、他アプリケーションへのキーボード入力と同様にデータが送信されます。
- ・設定を変更した場合は、適用のために一度接続を解除し、再接続してください。

以上